

MRTA 声明1

MRTA (トゥバクアマル革命運動) は、本日17日午後8時25分、特別部隊EDGAR SANCHEZが日本領事館を占領し、政財界や外交関係団体の人々を囚人として捕獲した。

我々は、この作戦に、「沈黙を破ろうー人民は彼らの自由を求める」という名称を与えた。

我々は、ペルーの日本大使館の軍事占拠の時点から、すべての行動はそこに捕獲された人々の身体的道徳的に無傷な状態を維持するように配慮されてきた。我々は、ペルーの人々の悲劇と窮乏以外の何ものももたらすことのなかったその経済政策への抗議とともに、この軍事占拠は、フジモリ氏の政府による様々な人権侵害を支持し、我々の国における政治生活への日本政府の干渉に対する抗議であるという認識によるものである。

沈黙を破ろうー人民は自由を求める



我々はまた我々の組織の数十名のメンバーとリーダーたちの生命を救うために、この極端な作戦をとらざるをえなかったということをもまたわが人民に知らせたい。彼らは、非人間的な状態と彼らの肉体的精神的破壊を目的とした監獄システムのもとに投獄されている。

この意味で、我々は、我々が捕獲した人々の身体的に無傷な状態を尊重しているということ、そして政府が以下の要求に応じるならば、我々は彼らを解放すると宣言するということをもまた強調したい。

①政府は、大多数の幸福を目的としたモデルへと経済モデルを修正すること。

②MRTAに属する全ての政治囚と我々の組織に属するということで訴追された全ての政治囚の解放

③日本の大使館にいる部隊とMRTAの全ての政治囚を中央ジャングルに移送すること。身の安全の保障のために、選ばれた若干の人間が同行すること。彼らは、我々がゲリラ支配地区に到着し次第解放されるであろう。

④戦争税を支払うこと

MRTAはすでに対話のための提案に回答するために配された組織を有している。今日我々は対立状態にあり、捕獲されている人々の生命を危機にさらすようないかなる軍事的な選択もその責任はすべて政府にあり、政府が我々の要求に答えなければ我々がとるであろうその他のいかなる行動についても同様にその責任は政府にある。

大衆とともに、武器を携えて、PATRIA O MUERTE VENCEREMOS!

毎年の賀状の中に「元気でやっているか」とMさんの添え書きを見ると心がなごむ。Mさんは奈良県大塔村に住む七〇才を越えた山林労働者、全山労(山林労働組合の全国組織)の委員長だ。私との出会いは一五年前、昔私が参加していた山村工作隊の足跡を訪ね歩いた時のことだ。Mさんの住む集落に昔三名の工作隊が世話になっていた。四五年前Mさんは二〇代半ばの青年だったが、山労には五五歳の私服が入り込んでいるという。突然やってきた日共の山村工作隊とは村の人達にとって何だったのだろう。畑仕事をしていた老婆に尋ねたら「あなたがあのときの共産党け?」と問い返された。その柔らかな表情が忘れられない。その晩私はMさんの家に泊めてもらい徹夜で語り明かした。以来Mさんとの交友が続いている。それは政治的意味は無くとも文化的遺産なんだろうと励まされた香川の老農民運動家Uさん(故人)の言葉を思い出す。今年もまた奥吉野の村を歩いてみたい。

.....

市場経済が世界を覆いつくした。同時に、このシステムが未来を切り開かないこともよく見え始めた。「敵ー共産主義」が消滅し、内部からの革命も当面心配がなくなり、長期的な設備・教育・研究・環境への投資は減少し、貧富の差は拡大している。インリーネットがアメリカ国防総省の資金で生み出されたように、核戦争の可能性に直面すればこそ新しい技術革新への長期的な投資が可能だった。今、資本はより短期的な利益を求めて世界市場を駆け巡っている。金融システムは、少しの亀裂を発見して流動する困難不明の資金に振り回されている。いつ大激震が起きても不思議ではない。資本主義は公然と球への責任を放棄した。こうした時代、庶民のさやかな努力と蓄積などは一夜にして消し飛んでしまう。お金の尺度から離れ、誰と日々つきあい、次の世代に何を残すかを考え、自然の原理に学び、生命の不思議に謙虚になること。暮らしにとって唯一の手掛かりは、非市場経済の領域をおし広げること。可能性が身近に見え始めた。

.....

ペルー日本大使公邸で一九九七年の元旦を迎えたゲリラ兵士達に新年のあいさつを! 世界各地で、黙々と抑圧・非人間的な生活・弾圧と闘う無数の人々の連帯の意志をこめて贈りたい。彼らをテロリストと呼び、人質の人権を振りかざしながら、スクープ合戦にうつつを抜かすマスコミの偽善。全ては銭で片付くとタカをくくっていた日本政府・企業幹部の成り金根性。醜いのは誰か。狂暴なる暴力とは何か。十数名の武装した意志が、世界の支配秩序と対峙している。何が始まるのか、何を始めるのかは、我々の課題。我々の意志。ペルーは対岸ではあり得ない。テレビの中の映像ではないのだから。政治家が、国民の税金で支払われている政党助成金をソロバンではじきながら、離合集散を繰り返す日本の政治の貧困。それは国民の頭の中の貧困の反映だ。日本は確実に退化しつつある。幼稚な大人に、頭の無い子供。皆自分だけは違ふとまだ疑いもしていない。生きていくのか、君は。

(M)

太田昌国（ラテン・アメリカ研究家）インタビュー

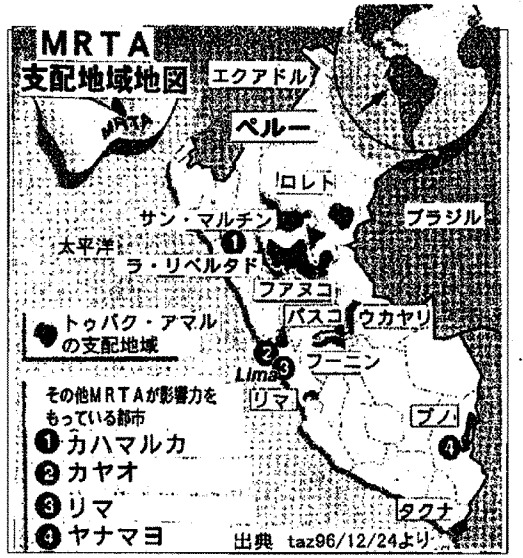
国家テロリズム
を支援してきた
アメリカ合衆国

義賊的な

ゲリラ組織

麻藥取引

三面に続く



ペルー内でこの
闘争は支持され
ているか？

ペルーの場合は特殊で、少し触れましたが、センデロ・ルミノソの活動がありましたから、非常に貧しい人々も含めて「もうあんな時代はいやだ」という気持ちは当然のことながらあると思います。

ですから今回のトゥバク・アマールの行動をセンデロの活動とダブらせて見てしまうような民衆意識があるとなれば、彼らにとつてかなり厳しいものがあると思います。

今回の行動について彼らは、最初の声明から「人質の生命は保証する」と真つ先に言っているわけですし、その通り人質を解放しつつあるわけですから、これらの動きを見ていけば、人々が恐れるセンデロの様なやり方ではないということは見ていられると思います。が、ペルーの人々がどの

背景を知る 5冊

- ◎『センデロルミノソ』デグレリほか 著(太田昌国訳・現代企画室)
- ◎『アンデスの女たち』キャロル・アンドレ アナ著(サンディ・サカモト訳・B.O.C出版)
- ◎『アンデスの反乱・独立の先駆者トゥバク・アマール』バルセルセ著(桑田金三郎訳・平凡社)
- ◎『ペルーの現憲法制定のための七試論』マリ・アネキ著(桑田金三郎訳・拓殖書房)
- ◎『(異世界・同時代) 乱反射』太田昌国著(現代企画室)

合法化について

ように評価しているのかは、なかなか微妙な問題だと思います。

日本がターゲットになった理由

私が読んでいる資料の中では、トゥバク・アマールが合法化を求めているという主張は見当たりません。

彼らの主張から見れば、獄中の四五〇人の同志と共に、自分達の根拠地があるジャングルの中に安全に輸送しろと要求しているわけですから、メキシコのサパティスタの様なやり方を模倣して

トゥバク・アマールからすれば、フジモリを絶対的に支えている日本政府がナショナル・デーとして、これだけ重要なペルーの人間と在ペルーの外国人を招待してなにかをやるうとして利用するから、これを利用しない

ニカラグアサンディニスタの場合

ニカラグアのサンディニスタを思い出すと、彼らは一九七四年にクリス・トマス・バティスタをやつていたソモサ政権の農業大臣の家を襲って外交官らを人質にとるわけでした。

そして今回と同じように①獄中同志達の解放、②自分達の声明の公表、③亡命、④戦争税・資金の提供を要求しました。

これにソモサが全ての要求を認め、初めて公然と屈服したわけです。

国際的な共闘について

この作戦は、ニカラグアの政治力学を変えたわけですが、つまり、ソモサのあれほど徹底的な弾圧で何十年と続いていた鉄壁な体制も、実はあれほど公然とした敗北を喫するものなのだというところから、どこか人々の心が、根底において変わったのではないかと思っています。

誰にとっての「発展」なのか？

サンディニスタからすれば、かなり苦しい時期だったと思いますが、いわば一か八かの作戦が成功して、そこで民衆的な共感の問題としても、獄中から何人もの同志を奪還したことからも、再生していくだけの力を得たわけでした。

当時のソモサ独裁体制と、現在のフジモリ体制との間には大きな違いがありますが、そういう面

日本と世界のモラルを問うている

日本は、あるいはニカラグア革命においては各国の援助を行ってきたわけですが、そうすると、あまりにも大きな日本の影を見ざるを得ないところがある。そうしたペルー政府へのテコ入れに対して厳しい見方を彼ら自身がつけていたという事だと思えます。

ODAにしても米国の肩を並べる援助がなされているわけですが、

革命家がこれに参加したという事はあったかも知れませんが、状況はかなり変わっています。

ラテンアメリカに限らず各国の政治的な運動は、退潮を喰われていて、トゥバク・アマールのような武装運動として展開しているのはごくわずかです。コロンビアの「コロンビア革命軍」、遠く離れてメキシコの「サパ



率などからいい数字が出てくるかもしれませんが、しかし、未だ絶対的な貧困が民衆の大多数を覆い、日本では想像もできないくらいに貧富の差がある国においては、経済指標だけが国家単位で上がっていくというあり方が、国内的にどれほど弱者の生活向上に寄与しているかというのは、非常に大きな疑問だと思えます。

しかも、人権問題などの社会問題は全く無視されるわけですから、中に生きてる人々がどういう生活をしているのか、どういう思いを抱いて生きているのかを見ないと、違ってくると思います。

今回の事件でもおびただしい数のマスコミが日本からもペルーに出かけていていますが、彼ら

これは現代世界の問題として、今回のような行動を一体どういう立場から批判できるのかというところについてはゆとりと考える必要があると思います。

つまり、少なくともどこで国家テロリズムについての問題意識を持ちながら、彼らの行動をテロリズムだとして批判するのであれば、まだしも公平な立場で両方がはらむ問題を考えようとしていえるといえます。

しかし、今回のような行動がなければ、これまでその存在すら無視されてきた少数者の主張に世界が耳を傾けることはなかったのです。

ですから、通常、国家テロリズムを一切問題にしないマスコミが、センセーショナルに表面的な

は大使館前にいて誰が出てきたというばかばかしい報道を繰り返すばかりです。

高級住宅街に下カンと建っている大使館とホテルの間を往復しているだけでは、トゥバク・アマールが訴えかけているペルーの経済問題は決して見えてきません。

新自由主義政策のもとで、小さな企業はつぶれてもしょうがないという政策が六年間徹底的にとられ、たくさんの解雇者・失業者が出たわけですから、またそれに気を配る政策をあえてとらないというのがフジモリ大統領が推進してきた政策です。

それにしても国民の八割が失業者というものはものすごい数字だと思えます。

自分たちが行なっている経済行為がペルーの人々にとって何であるのかを冷静に見つめ直したり、議論したりする場をメディアは提供していないと思えます。

北の先進諸国がこんな状態にあるかぎり、南の人々は何度でもこのような行動を行なうことで関心を呼び覚ますしか方法はないのかもしれないというところまで考えてみないと思いません。

(インタビュ・九六年十二月二七日)



旧人類のゴマの歯軌り?

大阪・〇

一九世紀まで、教育は道徳倫理に基づいて家庭や地域社会が行ふものであった。今は専ら経済原理に従って国が管理する。小中学校から英語教育

ダラダラ公務員の排除を!

大阪・上本 広信

本年も行政の監視と不正の摘発に努めます。怪しいと思つたとき役人とのトラブル素行調査、身辺調査、企業調査

不審、不安なときは、月光仮面全国ネットワー、ク吹田支部(八七二〇三八五)私立探偵・上本広信まで。相談無料。

今年もユーモアと元気を!

東京・東山 太郎

一九九六年は、生活に追われていた行動も出来ず終了...

一九九七年は、コント名を東山太郎と改名。権力を笑いノメス風刺コントを発表し、不投票多数派の先頭を切つて若者男女同志諸君に『ユーモアと元氣』を提供し続けま

からには使はねばならぬ。使ふためには消費を煽らねばならぬ。後は原発となれ三映ダムとなれ、月となれ火星となれ。欲望の、絶えざる再開戦こそ経済の第一義、シマツ屋はそのけ。旧人類は絶滅しろ。●経済第一主義に「ノウ」を唱へる教育がでなければ学校の意味は無いと、旧人類は思ふのだが。蚯蚓のたわごと、田螺の吹き、ゴマの歯軌り(これ、進化の順?)。止みなん止みなん。

この国はいつ目覚めるのか??

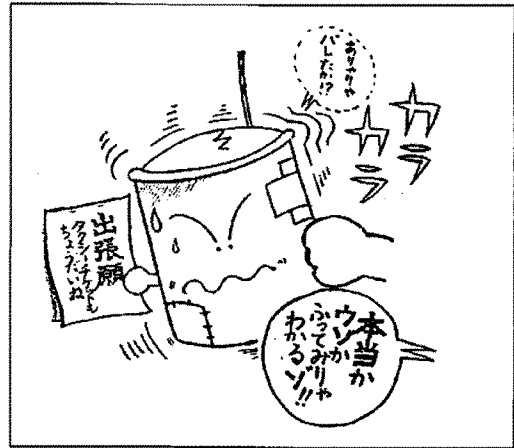
和歌山・宮森 幹男

日本も日本マスコミも墮落しきつてると今思つてゐるのです。HIVや厚生省の役人の汚職やボリナス支給に国民は怒つてゐます。当然です。不謹慎と怒られるでしょうが、私は皆が怒つてゐるとき余り怒りが沸

これが経済援助か?

援助か?

飢饉・貧困・悲慘・拷問・弾圧・自然破壊・他
ーベル人民
ツジモリ一族
日本政府
経済産業省
ODA
(東山太郎)



脱原発ネットワーク・九州事務局発行『脱原発ニュースレター』No.10・TEL093-452-0665

賀笑

笑つてもいられないような世の中ですが、そんな時代状況だからこそ心底笑い、笑い飛ばす。そんな『笑撃のパワー』を鍛えたいものです。

一九九七年 笑月

山柳

初仕事まお政官で国を喰ひ正月のテレビは無邪気過ぎないが新進党もはや明日なき年が明け初日の出財政破綻の赤に似る太陽党の落日がすでに視え初日あらさら日本曲の曲がいの魚宝船ならんが難破船に見え初日早くも力もそそぐ群れ初日今希望も希望せよと照る

乱鬼龍

初夢

風刺コント集がベストセラーになった!
ー東山太郎

政治の「政」は金偏に

長野・原 伊市

『ああ金の世や金の世』という歌が流行し、ヒット小説『金色夜叉』の主題歌『地獄の沙汰も金次第』というものが、この王室に毎日何千万円もボリナスを支給し続けているのです。ま

核のゴミはど

うするの? 青森・中村 亮嗣
ことしゴミが豊作、倉庫には天井までつかえるほどの袋を積み上げた写真が、原子力のゴミをつめた低レベル放射性ドラム缶などが倉庫いっぱいになり、写真がないのが不思議でなりません。

核のゴミの保管料に比べたらゴミの保管料などくらべものにならないほど安いことを、大いに各新聞は報道してほしいと思います。

人民の自治と

共生を求めて

東海・丸岡 修

旧年は肺炎で昇天しかけたままですが、しぶとく生還。これで九死に「三生」ぐらいのめでたい奴。『葛の花踏みしだかれて色新し』この道を行きし人あり。釈道空

人民の自治と共生を求め

品なら演技は見せ物、マスコミの\$箱。かくて日本国では娯楽山まで商品、『厚生省』という取組のお手本? 厚生トップ橋本先生、隠すより現はるは...?

マスコミの図々しい厚顔無知

神奈川・A

昨今の政治・行政のひどさは言うまでもないが、それに負けず劣らずひどいのがマスコミ。ジャーナリストとしての根性も無く、弁護士殺しの片棒をかついだと思えば、一方でくだらしない笑い番組でアホな子供を

権力の不正を

暴き真実を 東海・松井 喜代司
昨年は人民新聞をありがとうございました。今年も権力の不正を暴き、真実を正しく知らせるべく住みやすい社会を作るために健康で頑張つて下さい。私も公正な裁判が行われ一日も社会人として再出発のできるよう前向きに歩んで行きます。

総選挙の総括は見当はずれ 兵庫・山本 和美
人民新聞の総選挙の総括は見当はずれだともいいます。投票率が低いのは、有権者が怒り、シラケているからではなく、現状に満足しているからです。

変革を武器に

総括を糧に!

東海・谷田 由紀子

やり方次第の時代で、今こそ、団結を力に変革を武器に、総括を糧に、皆で斗い進めましよう。今年が飛躍の年にしよう! 共に!

「新聞」いつもありがと

編集一言

編集一言に代えてMRTA関連のホームページ・アドレスを紹介し、MRTA公式ホームページはスペイン語で読めるトゥバク・アマル革命運動関係の情報(スペイン語からの翻訳あり) <http://climenet.fkku.ac.jp/mrtamrtah.html> コミュニケは無論のこと、MRTAへのインタビューなど貴重な情報満載。MRTA関係のページ <http://dura.ucsd.edu/~als/mrtah.htm> And The Spiritによるページ。英語、マスメディア情報も網羅しています。 <http://www.cybercity.dk/users/cccl742/> 群馬・ウメ星

リマの教訓

だが、

「海外派兵」が必死の反撃に世界に伸びる「株式会社〇〇」(群馬・ウメ星)

情報ひろば

関西

▼阪神大震災を考える講演とビデオ
1月19日(日)午後1時半〜ビデオ・3時半〜講演/ビデオ「1995・神戸・ある避難所の記録」すきなんやこの町が、講演「震災から二年目...」平田義(被災「障害」児・者支援の会)／京都・京大会館(左京区吉田河原町)／一〇〇〇円/連絡: 075-1344-12371 (又川)
▼食料環境セミナー「自

各地

▼市民フォーラム「基地はいらないどこにも」+キャッチピース第六回全国会議
1月25日(土)午後1時〜26日(日)午後1時〜25日II基調講演・各地からの報告・課題別問題
1月26日(日)午後2時半〜4時半「資源浪費社会と田中正造の文明観」菅井益郎(国学院大学教授)／佐野市城北地区公民館(R佐野)／無料/連絡: 0283-2510997(田村)
▼九十九里反乱研究会公開講演会

関東

▼本郷文化フォーラム・連続講座「戦後の文化・芸術・思想運動がめざしたものは何か」
1月17日(金)午後6時半〜「思想と実践としての非暴力」鳥獣戯話「をめぐって」立野正裕(明治大学教授)／東京・小川町企画(地下鉄本郷三丁目)／一〇〇〇円/連絡: 03-381-6671
▼憲法研究講座

「当たり前」の労働運動を

新たな動きとネットワークを組みながら、反動攻撃と対決する「当たり前」の労働運動を、闘い抜いていきたいと思います。

本年も、ご支援のほどよろしくお願い致します。

新たな闘いの初年度として

闘いを拡大させていくつもりです。

「小選挙区比例代表並立制のもとでの総選挙、自民党は勝ったが、得票率では減っていることに注目すべきだ。共産党の躍進と社民党の惨敗の色あざやかな対比こそ、もとも注目すべきではないのか」(在野政治勢力を結集させる会)

改憲阻止、消費税撤廃を！

電気通信産業労働組合

安保再定義の中での沖縄の反基地闘争を軸として、改憲阻止、反原発、消費税撤廃を、橋本内閣打倒の闘いを全労働者の仲間と共に闘い抜く年にしたいと思っています。

1月18日(土)午後2時〜5時「アジアとの関連で考える日本国憲法」山川啓夫(大阪経済大学教授)／東京・文京区民センター(地下鉄春日)／五〇〇円／連絡・TEL 03-3221-4666

1月26日(日)午後1時〜5時「いま田中正造と足尾銅毒事件から何を学ぶか」布川了(渡良瀬川研究会)／東京・文京区民センター(地下鉄春日)／五〇〇円／連絡・TEL 03-3221-4666

8(担当・高田)

▼グループ・フリージア講演会

1月25日(土)午後2時〜4時「病理性大腸菌O-157と学校給食」玉田富子(管理栄養士)／東京・生活産業プラザ(池袋)／無料／連絡・TEL 03-3916-1745(池田)

▼国籍事項完全撤廃を求めて川崎集会

1月26日(日)午後1時〜ビデオ上映、鄭香均さんからのアピール、裁判弁護団から、川崎市の問題点について、パネルディスカッション、他

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

航海中です

ピースボート

現在、第二十回ピース

海上を東に

太平洋を東に

